

授 業 科 目	装具学実習V		
教 育 内 容	専門分野	応用義肢装具学	
担 当 教 員	丸山貴之、那須祐介		
学 年	3	単 位 数	2
開 講 時 期	前期 (火曜日 I - V 限)	時 間 数	実習 90 時間

■ 授 業 概 要

靴型装具は足部の変形や歩行障害に対し、支持・矯正・免荷・荷重分散を目的として処方される装具である。本科目では基本的な足部・下肢の解剖・バイオメカニクスを理解していることを前提に、装具学 V で学ぶ理論を踏まえ、靴型装具の製作方法を習得する。具体的には、採型から靴型の製作・修正を行い、チェックシューズによる適合チェック、その靴型を用いての製靴を行う。

また、糖尿病足病変等に行われる免荷や、装具適合のための胼胝研磨、爪切りについても体験し理解を深める。

なお、本科目は靴型装具の基本的な知識を学習する装具学 V と並行して進める。

■ 到 達 目 標

- 1) 靴型装具の採型・採寸方法を理解し実践できる。
- 2) 靴型の修正を実践できる。
- 3) チェックシューズによる適合チェックを行い、修正を行うことができる。
- 4) 製靴工程について理解し実践できる。
- 5) 靴型装具の適合チェックを行い、不適合に対処する事ができる。
- 6) 足底の免荷、および装具適合のための胼胝研磨・爪切りを実践できる。

■ 授 業 内 容

	内容	備考
第 1-2 回	足部の評価、採型・採寸	
第 3-9 回	靴型製作、修正、底型の設計	
第 10-15 回	靴インサート (フットベッド) 製作	
第 16-20 回	チェックシューズ製作	
第 21-22 回	適合チェック	
第 23-24 回	適合チェックのプレゼンテーション	
第 25-26 回	靴型の修正	
第 27-28 回	フットベッドの補強	
第 29-31 回	アッパーデザイン・パターンデザイン	
第 32 回	型紙製作	
第 33-40 回	アッパー製作、部品製作	
第 41-46 回	つり込み	
第 47-48 回	細革、シャンク取り付け	
第 49-51 回	底付け	
第 52 回	適合チェック・デザインのプレゼンテーション	
第 53 回	免荷フェルトによる免荷、爪切り・胼胝研磨演習	

<p>■ 評価方法</p>
<p>評価配分は次の通りとする。</p> <p>最終試験（筆記）30%、製作70%</p>
<p>■ 教科書</p>
<p>装具学 第4版、医歯薬出版 義肢装具のチェックポイント 第9版、医学書院 新編 装具治療マニュアル、医歯薬出版</p>
<p>■ 留意事項</p>
<p>■ 備考</p>
<p><講師の実務経験></p> <p>丸山貴之：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 17 年間勤務。</p> <p>那須祐介：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 6 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 2 年間勤務。</p>